

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-125	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国総 340 国総 341	<b>精選国語総合 現代文編／古典編</b>		

## 1. 編修の趣旨及び留意点

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条の第1～第5号）」を、学習活動を通じて実現できるように編修しました。すなわち、言語や文化についての幅広い知識や教養を身に付け、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主および自律の精神を養えるようにしました。同時に、生命を尊び、自然を大切にし、主体的に社会の形成に参加する態度、伝統と文化を尊重する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。

### 幅広い知識や教養



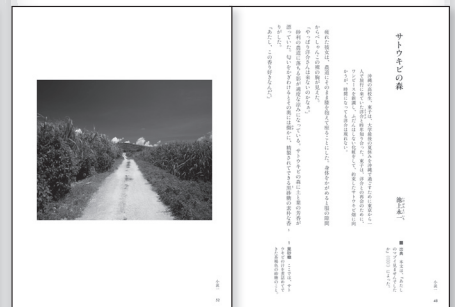
評論三 世界は分けてもわからない  
現代文編P90-91

### 国際社会に寄与する態度



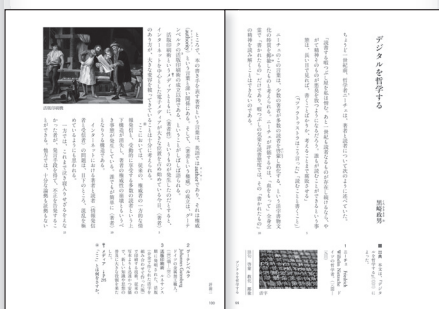
随想一 薔薇のボタン  
現代文編 P84, 87

### 自主および自律の精神



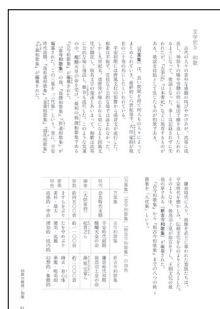
小説一 サトウキビの森  
現代文編 P48, 52

### 社会の形成に参加する態度



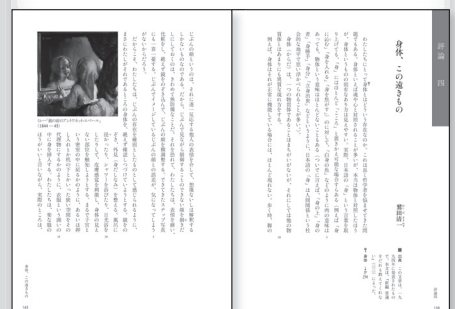
評論三 デジタルを哲学する  
現代文編 P99, 100

### 伝統と文化を尊重する態度



文学史 和歌  
古典編 P91

### 生命・自然を尊重する態度



評論四 身体、この遠きもの  
現代文編 P138, 143

## 2. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標及び学習指導要領の目標**を達成するために、構成・内容と教材の選択について、以下のような方針で編修しました。

### 各単元の構成と内容

- 1 **幅広い知識と教養**を身につけ、**表現の豊かさや美しさ**を感じ取ることができるような構成にしました。
- 2 **個人の価値を尊重**し、一人一人が能力を伸ばし合い、**創造性**を培えるように学習活動を工夫しました。
- 3 各領域とも**幅広い言語活動**を通して、国語学習の**基礎的・基本的な能力**を育成することを重視しました。
- 4 さまざまな**言語活動**を通して、**言葉への興味・関心**を養うことができるような教材化を行いました。

### 教材の選定について

1. 高校生として社会を見つめる目とともに、社会の中での自分の位置を見極める目も養えるようなバラエティ豊かな教材を選定し、言語や文化についての**幅広い知識や教養を身に付ける**ことができるようにしました。
2. 近代以降に作り出されたさまざまな仕組みについて考え、自分の意見を持ち、他者の視点を受け入れることで、**創造性を培い、更に主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う**ことができるようにしました。
3. 自分たちの身体や、科学技術、ジェンダーなどの問題に関する教材を通じて、**生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う**ことができるようにしました。
4. 世界の過去と今について考える教材を通じて、**国際社会の平和と発展に寄与する態度を養**えるようにしました。
5. 古典教材の学習を通じて、**伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛するとともに他国を尊重する態度を養**えるようにしました。

#### ○現代文編 入門単元と12単元で構成

- ・評論：17教材 多彩なテーマ（言語・比較文化・科学・現代社会・メディア・環境・ジェンダー・芸術・身体など）
- ・小説：6教材 大正・昭和・平成まで幅広く選定
- ・随想：2教材 平和教育・文学論
- ・詩歌：9教材 詩5教材，短歌・俳句3教材，評論1教材
- ・表現：7教材 話すこと・聞くこと4教材，書くこと3教材

#### ○古典編 古文編は入門教材と7単元で構成，漢文編は入門単元と5単元で構成

- ・古文編：17作品35教材 説話・随筆・日記・物語・和歌・軍記物語・俳諧
- ・漢文編：27教材 漢文入門・故事・史伝・唐詩・名文・思想
- ・表現：2教材 書くこと2教材

## 3. 対照表

図書の内容・構成と**教育基本法第二条の第1号から第5号**との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、**健やかな身体を養うこと。**

- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>現代文編</b>			
〈現代文編〉 正義と微笑 太宰治		「正義と微笑」では、高等学校生活の始まりに、学習者と同年齢の登場人物が掲げる「モットオ」について考えることで、国語学習への意欲を喚起し、自主の精神を養えるようにしました。〈第2号、3号〉	P8-11
評論一 水の東西 山崎正和 レトリック感覚——直喩 佐藤信夫 物語の文法 大塚英志		「水の東西」では、日本と西洋の「水」の捉え方について比較し、「レトリック感覚」では、「言語」のもつ特性について考え、「物語の文法」では、「物語」の描かれ方の特徴について考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。〈第1号、5号〉	P12-33
小説一 羅生門 芥川龍之介 羅城門（今昔物語集） 池上永一 サトウキビの森		「羅生門」では、「下人」の行動や心情の変化を追いかけることで、正義と責任を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。また、「サトウキビの森」では、「東子」の行動や心情の変化を追うことで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにしました。〈第2号、3号〉	P34-61
評論二 ものごとば 〈性〉と日本語 うたっているのは誰？ 鈴木孝夫 中村桃子 若林幹夫		「ものごとば」では、「ことば」のもつ特性について、「〈性〉と日本語」では、「言語行為」がアイデンティティをつくりだすということについて、「うたっているのは誰？」では、「言葉」が世界を形作るということについて考えることで、個人の価値を尊重し、自主及び自律の精神を養い、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。〈第2号、3号〉	P62-83
随想一 薔薇のボタン 梯久美子		「薔薇のボタン」では、過去のできごとについて調べたり、調べたことを人々に伝えたりする活動について考えることで、豊かな情操と道徳心を培うとともに、生命を尊ぶ態度、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。〈第1号、4号、5号〉	P84-89
評論三 世界は分けてもわからない 福岡伸一 デジタルを哲学する 黒崎政男 ブナの森で 内山節 二十一世紀の課題 加藤周一		「世界は分けてもわからない」では、私たちの「認識」が世界を知る方法の一つに過ぎないということについて、「デジタルを哲学する」では、「著者」と「読者」の関係性について、「ブナの森で」では、人間と自然の関係について、「二十一世紀の課題」では、これからの私たちの社会が「科学技術」をどのように統御していくかということについて考えることで、真理を求める態度、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第1号、3号、4号〉	P90-119
小説二 城の崎にて 棒 志賀直哉 安部公房		「城の崎にて」では、登場人物の「自分」が生と死について考えたことについて読み取ることで、「棒」では、「私」の生き方についての寓意性について考えることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うとともに、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。〈第2号、4号〉	P120-137

図書の内容・構成		特に意を用いた点や特色	該当箇所
評論四	身体、この遠きもの 権力の読み方 近代アートの誕生 身体像の近代化 鷲田清一 菅野稔人 榎木野衣 野村雅一	「 <b>身体、この遠きもの</b> 」では、「じぶん」の身体とはどういうものかについて、「 <b>権力の読み方</b> 」では、「権力」の機能性について、「 <b>近代アートの誕生</b> 」では、「近代芸術」がどのようにして誕生したのかについて、「 <b>身体像の近代化</b> 」では、日本人の「身体」の変化について考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度、生命を尊ぶ態度、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第1号、3号、4号、5号)	P138-171
随想二	小説、この無能なものたち 岡真理	「 <b>小説、この無能なものたち</b> 」では、文学のもつ力について考えることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第2号、5号)	P172-177
詩歌	山のあなた カール・ブッセ／上田敏訳 ふる里 堀口大学 冬が来た 高村光太郎 鵜のうへ 三好達治 わたしが一番きれいだったとき 茨木のり子 折々のうた 大岡信 短歌／俳句 モードの変遷 穂村弘	詩や「 <b>折々のうた</b> 」「 <b>短歌</b> 」「 <b>俳句</b> 」「 <b>モードの変遷</b> 」を読むことを通じて、豊かな情操と道徳心と、創造性を培い、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度が養えるようにしました。(第1号、2号、5号)	P178-203
評論五	白 資本主義と「人間」 喜ばしき学問 原研哉 岩井克人 村上陽一郎	「 <b>白</b> 」では、「白」という感性について、「 <b>資本主義と『人間』</b> 」では、経済の中での「人間」の立場について、「 <b>喜ばしき学問</b> 」では、学ぶということについて考えることで、真理を求める態度、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第1号、3号)	P204-223
小説三	鮫 ひよこトラック 岡本かの子 小川洋子	「 <b>鮫</b> 」では、人間が生きることや、「食べる」ということについて、「 <b>ひよこトラック</b> 」では、他者との言葉や言葉によらないコミュニケーションについて考え、豊かな情操と道徳心、創造性を培い、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。(第1号、2号、3号、4号)	P224-253
表現	スピーチ原稿に工夫を加えよう／一分間で人々を説得しよう／話し合いで問題を解決しよう／自分だけの物語を作ろう／書評を書こう／自分の意見を書こう／広告の仕掛けを読み取ろう	「 <b>表現のスケッチ</b> 」では、日常生活や授業中、それ以外の学校場で表現をする身近な活動を通じて、創造性を培い、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第2号、3号)	P254-272
<b>古典編</b>			
〈古文編〉	古文を学ぶ	古典遺産の価値を知って、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心と、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。(第1号、5号)	P8-9
説話	児のそら寝 北叟が馬 正直の徳 鬼の笛	<b>説話文学</b> を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号、5号)	P10-25
随筆	徒然草 つれづれなるままに 雪のおもしろう降りたりし朝 応長の頃 丹波に、出雲といふ所あり 静かに思へば 相模の守時頼の母は 枕草子 ありがたきもの 雪のいと高う降りたるを	三大随筆のうち『 <b>徒然草</b> 』と『 <b>枕草子</b> 』を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号、5号)	P26-41
日記	土佐日記 門出／忘れ貝／住吉の明神／帰京 更級日記 東路の道の果て／松里の渡り	平安時代の <b>日記文学</b> を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。特に『 <b>土佐日記</b> 』では、亡子追慕の段を読むことにより、生命を尊ぶ態度を養います。(第4号、5号)	P42-57

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
<b>物語</b>	竹取物語 貴公子の求婚／かぐや姫の昇天 伊勢物語 芥川／東下り／筒井筒／さらぬ別れ	日本最初の物語文学である『竹取物語』と歌物語『伊勢物語』を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P58-77
<b>和歌</b>	万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	<b>三大和歌集</b> を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。自然賛歌を多く選び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮しました。〈第4号、5号〉	P78-91
<b>軍記物語</b>	平家物語 祇園精舎／木曾の最期 義経記 義経の最期	二つの <b>軍記物語</b> を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。また、戦いをめぐる古代の人々の諸相を読むことにより、生命を尊ぶ態度を養います。〈第4号、5号〉	P92-105
<b>俳諧</b>	奥の細道 旅立ち／白河の関／平泉／大垣 俳諧	『 <b>奥の細道</b> 』と <b>俳諧</b> 作品を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P106-114
<b>〈漢文編〉</b>	漢文入門 漢文を学ぶ／訓読の基礎／名言	古典遺産の価値を知って、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心と、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養います。また、漢文の歴史を知り、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。〈第1号、5号〉	P116-125
<b>故事</b>	借虎威／蛇足／朝三暮四／塞翁馬	今に生きる古典作品である <b>故事</b> を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P126-135
<b>史伝</b>	死諸葛走生仲達／先従隗始／臥薪嘗胆	<b>史伝</b> 作品を読むことにより、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P136-145
<b>唐詩</b>	春暁／登鶴鵲樓／静夜思／江雪／涼州詞／送元二使安西／早發白帝城／江南春／春望／旅夜書懷／香炉峰下新卜山居草堂初成偶題東壁	代表的な <b>唐詩</b> 11編を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。〈第5号〉	P146-155
<b>名文</b>	雑説 愛蓮説	2編の <b>名文</b> を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。『 <b>雑説</b> 』では、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす態度を、また、『 <b>愛蓮説</b> 』では、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。〈第5号〉	P156-159
<b>思想</b>	論語 孟子 仁人心也／何必日利 知っていること、知らないこと 中野孝次	我が国の思想に大きな影響を及ぼした <b>儒家の文章</b> を読み、伝統と文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国と郷土を愛する心を養います。幅広い知識と教養を身につけ、真理を求める態度、また、自他の敬愛と協力を重んじて主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養います。〈第1号、3号、5号〉	P160-172

## 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標などを達成するため、編修を次のように工夫しました。

- ◎『現代文編』では、**近代以降に書かれた多種多様な文種と、さまざまなジャンルの文章によって構成し、全体を通じて、中学校での学習の成果を発展拡充させながら、学習が進められるように配慮しました。**〈学校教育法第五十一条 一〉
- ◎**現代社会の諸課題や、「近代」という時代の枠組みを理解する文章や解説を示すこと**で、社会について広く深い理解と健全な批判力を養えるようにするとともに、社会において果たさなければならない使命の自覚や将来の進路決定に資するようにしました。〈同 二、三〉
- ◎より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性を踏まえた、**判読しやすい配色やレイアウト、表示の工夫**により、学びやすい紙面づくりに配慮しています。〈同 二〉
- ◎教科書の印刷には**再生紙と植物油インキ**を使用し、**地球環境への影響を少なくするように配慮**しています。〈同 三〉

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-125	高等学校	国語科	国語総合	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国総 340 国総 341	<b>精選国語総合</b> <b>現代文編／古典編</b>		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### 編修の基本方針

- ① **広い視野と深い考察** 教材は、さまざまなジャンルから精選し、国語総合を通じて、多様なものの見方や考え方が理解でき、現代社会に生きる日本人としての自覚を養えるような教材を選定しました。
- ② **理解し、表現する** 私たちが日本語の歴史の中で「考える」存在であることを改めて認識し、日本語とその言語文化に興味を抱いたり、現代の課題について考えを深めたりすることができるように課題を設定しました。
- ③ **自ら学び、自ら考える** 「自ら学び、自ら考える」ことのできる主体の形成に資するものであるように構成を工夫しました。

### 教科書の構成

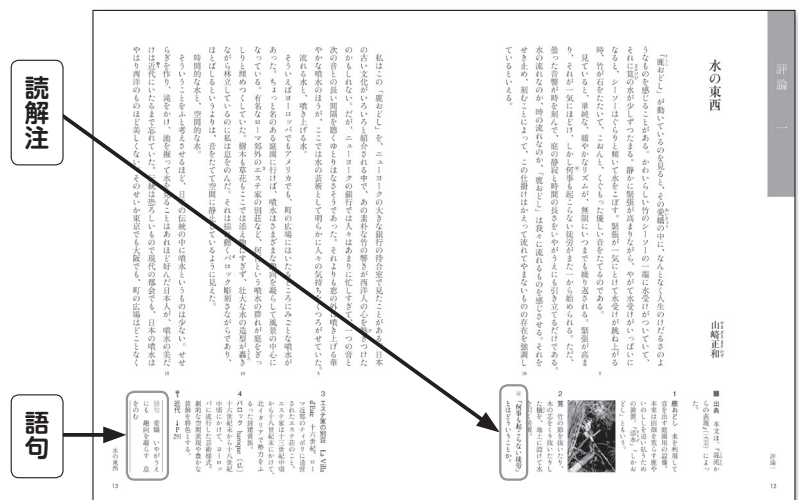
#### ○ねらいと構成

本文は「読解注」によって、読解に必要な視点を得ることができます。「語句」によって、辞書を使った言葉の学習のポイントを確認できます。

「読解注」は、教材を読み進めるうえで、注目すべき文章のポイントとなる箇所に、発問の形で現れます。読み飛ばしてしまいがちな記述に着目し、注意深く読み進める契機となります。

「語句」には、文中に出てくる意味の難しい言葉や読み方の難しい熟語などをまとめてあります。手もとの辞書を引いて確認しながら文章を読み進めることができます。古文編では、重要古語を取り立て、教材末にまとめました。

▼評論一 水の東西 現代文編 P12~13





## 題材の特色

### ○現代文編

高校生として、社会を見つめる目とともに、社会の中での自分の位置を見極める目も養えるような教材を、特定の分野に偏らないようにバランスよく取り上げました。

理想2教材・評論17教材：「比較文化」「言語論」「物語論」「ジェンダー」「他者」「認識」「メディア」「環境」「科学技術」「身体」「芸術」「近代」「資本主義」「学問」など

小説6教材：大正・昭和初期・昭和中期・平成  
詩歌9教材：文語定型詩・文語自由詩・口語自由詩

### ○古典編

小・中学校でも学習したなじみのある作品、また、「古典B」へとつながる古典学習の基盤となる作品を中心に掲載しました。

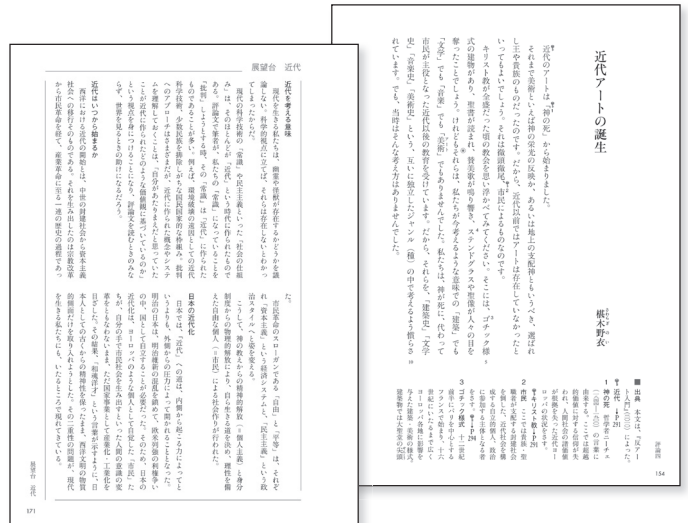
古文編：宇治拾遺物語・古今著聞集・沙石集・十訓抄・徒然草・枕草子・土佐日記・更級日記・竹取物語・伊勢物語・万葉集・古今和歌集・新古今和歌集・平家物語・義経記・奥の細道の16作品と、芭蕉・蕪村・一茶の俳諧作品

漢文編：戦国策・列子・淮南子・十八史略・唐宋八家文読本・古文真宝後集・論語・孟子の8作品と、唐詩11首。また、古典に関連する近代以降の文章として「知っていること、知らないこと」(中野孝次)を、論語に関連させて掲載しました。

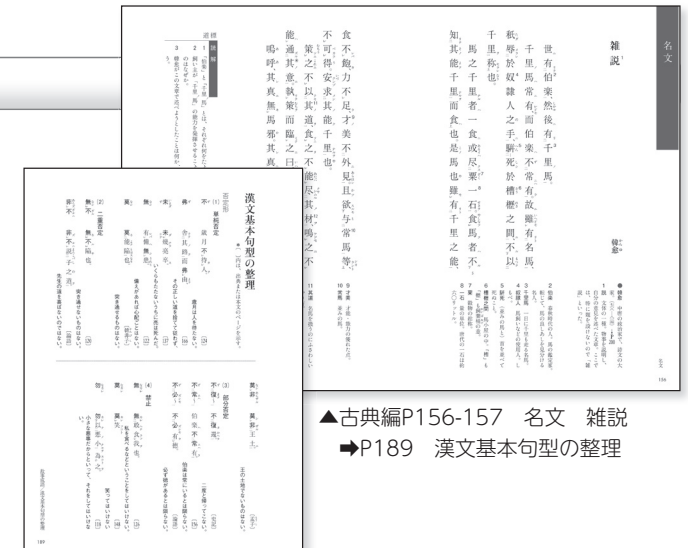
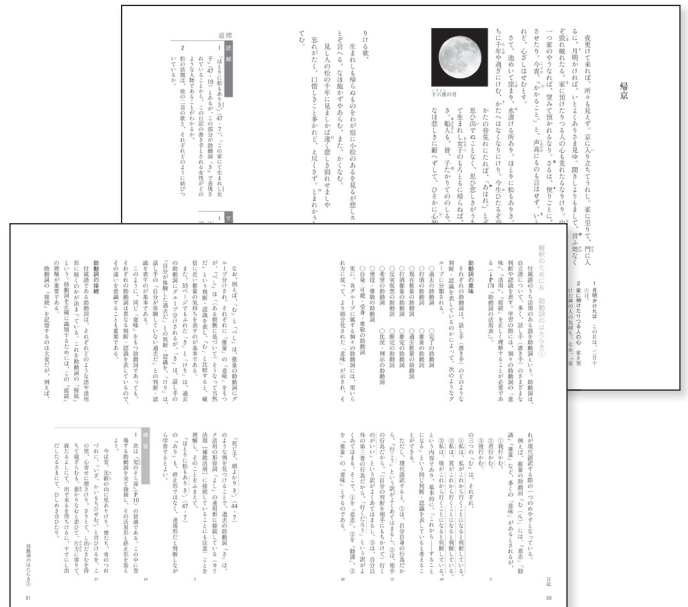
## 言語活動の特色

与えられた作業をこなすステレオタイプの活動ではなく、中学校までの学習で獲得した知識・技能を活用して、自分で考えながら、積極的に活動へ取り組むよう、さまざまな活動を設定しました。その際、資料編なども活用し、現代の社会・歴史の中の自分といったものを改めて確認しながら、高校生として、より深い活動となるよう留意しました。

### ▼現代文編 P154 P171 評論四 近代アート誕生



### ▼古典編 P47-48 日記 土佐日記 帰京 ▶P50-51解釈のために 助動詞のはたらき



### ▲古典編P156-157 名文 雑説 ▶P189 漢文基本句型の整理



## 2. 対照表

凡例 A=話すこと・聞くこと B=書くこと C=読むこと  
 伝=伝統的な言語文化に関する項目 言=言葉の特徴やきまりに関する事項 漢=漢字に関する事項

図書構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>現代文編</b>				
〈現代文編〉 正義と微笑 太宰治		C(1)ア, (2)イ	P8-11	2
評論一 水の東西 レトリック感覚——直喩 物語の文法 山崎正和 佐藤信夫 大塚英志		B(1)アイウ, (2)アイ 伝(7) 言(7) (1) 漢(7) C(1)アイエ, (2)アイ	P12-33	2 (B 1) 2 (B 1) 2 (B 1)
小説一 羅生門 羅城門(今昔物語集) サトウキビの森 芥川龍之介 池上永一		C(1)アウオ, (2)イエ 伝(7) (1) 言(1) 漢(7)	P34-61	3 1 2
評論二 ものとことば (性)と日本語 うたっているのは誰? 鈴木孝夫 中村桃子 若林幹夫		B(1)イ, (2)イ 言(7) (1) 漢(7) C(1)アイエ, (2)イウ	P62-83	2 2 (B 1) 2
随想一 薔薇のボタン 梯久美子		B(1)イ, (2)イ 言(1) 漢(7) C(1)アウエ, (2)ウ	P84-89	2 (B 1.5)
評論三 世界は分けてもわからない デジタルを哲学する ブナの森で 二十一世紀の課題 福岡伸一 黒崎政男 内山節 加藤周一		B(1)イ, (2)イ 言(1) 漢(7) C(1)アイエ, (2)イウ	P90-119	2 (B 1) 2 (B 1) 2 2 (B 1)
小説二 城の崎にて 棒 志賀直哉 安部公房		B(1)アイウ, (2)アイ 言(1) 漢(7) C(1)アウエ, (2)イエ	P120-137	2 (B 0.5) 2 (B 0.5)
評論四 身体, この遠きもの 権力の読み方 近代アートの誕生 身体像の近代化 鷲田清一 萱野稔人 榎木野衣 野村雅一		B(1)イエ, (2)イ 言(1) 漢(7) C(1)アイエ, (2)イエ	P138-171	2 2 2 (B 0.5) 2 (B 0.5)
随想二 小説, この無能なものたち 岡真理		B(1)イ, (2)イ 言(1) 漢(7) C(1)アウエ, (2)イ	P172-177	2 (B 1.5)
詩歌 山のあなた カール・ブッセ/上田敏訳 ふる里 堀口大学 冬が来た 高村光太郎 齧のうへ 三好達治 わたしが一番きれいだったとき 茨木のり子 折々のうた 大岡信 短歌/俳句 モードの変遷 穂村弘		B(1)エ, (2)ア 言(1) 漢(7) C(1)アイウエオ, (2)アエ	P178-203	1 (B 0.5) 1 1 (B 0.5) 1
評論五 白 資本主義と「人間」 喜ばしき学問 原研哉 岩井克人 村上陽一郎		B(1)アウ, (2)ア 言(1) 漢(7) C(1)アイエオ, (2)イ	P204-223	2 (B 0.5) 2 2 (B 0.5)
小説三 鮫 ひよこトラック 岡本かの子 小川洋子		B(1)アイ, (2)アイ 言(7) (1) 漢(7) C(1)アウエオ, (2)イ	P224-253	2 (B 0.5) 2 (B 0.5)
表現 1 スピーチ原稿に工夫を加えよう 2 一分間で人々を説得しよう 3 話し合いで問題を解決しよう 4 自分だけの物語を作ろう 5 書評を書こう 6 自分の意見を書こう 7 広告の仕掛けを読み取ろう		A(1)アイウエ, (2)アイウ C(1)アイエオ, (2)ウ B(1)アイウエ, (2)アイウ	P254-272	2 (B 2) 3 (B 3) 3 (B 3) 3 (A 3) 4 (A 4) 4 (A 4) 3 (A 1 B 1)
			計	80 (A 9) (B 27)

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>古典編</b>			
〈古文編〉 古文を学ぶ 説話 児のそら寝 北叟が馬 正直の徳 鬼の笛	C(1)イ, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(ア)(イ)	P8-25	6 (A 0.5)
随筆 徒然草 つれづれなるままに 雪のおもしろう降りたりし朝 応長の頃／丹波に, 出雲といふ所あり 静かに思へば／相模の守時頼の母は 枕草子 ありがたきもの／雪のいと高う降りたるを 表現 「ものは」 づけを作ろう	B(1)ア・イ・エ, (2)ア C(1)ア・ウ・エ, (2)ア・イ 伝(ア)(イ) 言(ア)(イ)	P26-41	7 (A 0.5) (B 1)
日記 土佐日記 門出／忘れ貝／住吉の明神／帰京 更級日記 東路の道の果て／松里の渡り	C(1)ア・ウ・エ・オ, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(ア)(イ)	P42-57	5 (A 0.5)
物語 竹取物語 貴公子の求婚／かぐや姫の昇天 伊勢物語 芥川／東下り／筒井筒／さらぬ別れ 表現 古典の世界を現代によみがえらせよう	B(1)ア・ウ・エ, (2)ア C(1)ア・ウ, (2)ア・エ 伝(ア)(イ) 言(ア)(イ)	P58-77	7 (A 1) (B 2)
和歌 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集	C(1)ア・ウ・エ, (2)エ 伝(ア)(イ) 言(ア)(イ)	P78-91	3 (A 0.5)
軍記物語 平家物語 祇園精舎／木曾の最期 義経記 義経の最期	C(1)ア・ウ・エ・オ, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(ア)(イ)	P92-105	4 (A 0.5)
俳諧 奥の細道 旅立ち／白河の関／平泉／大垣 俳諧	C(1)ア・ウ・エ, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(ア)	P106-114	3 (A 0.5)
〈漢文編〉 漢文入門 漢文を学ぶ 訓読の基礎 名言	C(1)ア, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(ア)	P116-125	5
故事 借虎威 蛇足 朝三暮四 塞翁馬	C(1)イ, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(ア)(イ)	P126-135	4 (A 0.5)
史伝 死諸葛走生仲達 先從隗始 臥薪嘗胆	C(1)イ・ウ, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(イ)	P136-145	6 (A 0.5)
唐詩 春暁／登鶴鵲樓／静夜思／江雪／涼州詞 送元二使安西／早發白帝城／江南春／春望 旅夜書懷／香炉峰下新卜山居草堂初成偶題東壁	C(1)ア・イ・ウ・エ, (2)イ 伝(ア)(イ)	P146-154	3 (A 0.5)
名文 雑説／愛蓮説	C(1)イ・ウ・エ, (2)イ 伝(ア)(イ)	P155-159	2
思想 論語 孟子 仁人心也／何必曰利 知っていること, 知らないこと 中野孝次	C(1)ア・イ・ウ・エ・オ, (2)イ 伝(ア)(イ) 言(イ)	P160-172	5 (A 0.5)
		計	60 (A 6) (B 3)